



令和3年10月 上野原市教育委員会 第1号

「SDGs」とは、「Sustainable Development Goals」の頭文字を取った呼び名で、日本語では「持続可能な開発目標」と訳します。2015年9月に国際連合サミットで採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ※」が掲げた17の目標と169のターゲットからできています。つまり、**SDGsは2030年までに達成を目指す世界の目標**のことで、

今、世界では、貧困、差別、環境問題、戦争など様々な問題・課題を抱えています。目標を達成するためには、文化や考え方が違う世界中の人々が共に成長しながら、他者を思いやり協力し合うことが大切です。

上野原市では、学校給食をきっかけに小中学生、保護者、地域の方々にSDGsについて関心を高め、目標達成に向けて取り組みを進めてほしいと思い、「SDGsについて考える日給食」を実施することになりました。学校給食では、これまでに、以下のような取り組みを進めてきました。その中からいくつか紹介をします。

※アジェンダとは、「取り組むべき課題」「行動計画」という意味です。



10月16日の「世界食糧デー」にあわせて、おたよりで、世界の飢餓について知らせる。牛乳の飲み残し調査の結果を知らせ、飲み残し削減の取り組み。

食育だより等を通して、成長期の栄養や健康について発信する。



地場産物を積極的に取り入れる。



上野原市手話言語条例制定以降、食事風景で使える手話の紹介をする。

強化磁器の食器をリサイクル業者に引き取ってもらい、新しい食器に作り替える。



- ①地場産物の野菜を給食で使用する。
- ②残菜をバイオランナーに入れて、肥料にする。
- ③肥料を地場産物生産農家が畑で使い、野菜を作る。

地球の裏側で起こっていることでも、おなじ「地球人」と考えれば他人事ではありません。「自分たちさえよければいい」とは、言ってもらえないはず。SDGsは私たち人類と地球を守るために達成しなければならない目標なのです。私たちにできることはたくさんあります。想像力を働かせて、「自分ができないことはないか」を考えればきっと見つかるはず。まずは、SDGsについて知ることが目標達成への一歩です。できること、できそうなことから始めましょう。

「SDGsについて考える日給食」の献立内容は、献立予定表や食育だよりをご覧ください。

# わたしにできることは？

ESD（エスディージーズ）を達成させるために、わたしたちにできることは何でしょうか？17の目標について、家族と一緒に、わたしにできることを考えたり、どのような問題や課題があるのか調べたりしたことをまとめてみましょう。おうちの人が働いている職場でもSDGsの取り組みをしているところがあります。おうちの人に取り組みの様子についてインタビューしてみましょう。

ESD SDGs	わたしにできること 調べたこと など	ESD SDGs	わたしにできること 調べたこと など
1 貧困をなくそう		10 人や国の不平等をなくそう	
2 飢餓をゼロに		11 住み続けられるまちづくりを	
3 すべての人に健康と福祉を		12 つくる責任 つかう責任	
4 質の高い教育をみんなに		13 気候変動に具体的な対策を	
5 ジェンダー平等を実現しよう		14 海の豊かさを守ろう	
6 安全な水とトイレを世界中に		15 陸の豊かさも守ろう	
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16 平和と公正をすべての人に	
8 働きがいも経済成長も		17 パートナリシップで目標を達成しよう	
9 産業と技術革新の基盤をつくろう		ESDについて分かったことや思ったことを書こう。	



こうえきざいだんほうじんにほん きょうかい  
 公益財団法人日本ユニセフ協会  
 「SDGs CLUB」のQRコードです。  
 ESDについて調べてみよう！